

(2) 種類別明細書（増加資産・全資産用）の記載例

◎今回、初めて申告される方は、全資産を記載してください。

令和 7 年度													
※ 所有者コード ※													
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0													
種類別明細書（増加資産・全資産用）													
所有者名													
〇〇工業株式会社													
1枚のうち													
1枚目													
行 番 号	資産 の 種 類	資産コード	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月	取得価額	耐用 年 数	減価 残 存 率	価 額	課税標準 の特 例	課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要
01	1		アスファルト舗装	1	4 30 8	500 000	10	0.	十億 百万 千 円		十億 百万 千 円	1・2 3・4	
02	2		コンプレッサー	1	4 19 11	200 000	12	0.				1・2 3・4	申告もれ
03	6		パソコン	1	5 5 10	240 000	4	0.				1・2 3・4	
04	6		エアコン	2	4 15 6	320 000	6	0.				1・2 3・4	下松市より移動
05								0.				1・2 3・4	
06								0.				1・2 3・4	
07								0.				1・2 3・4	
08								0.				1・2 3・4	
09								0.				1・2 3・4	
10								0.				1・2 3・4	
11								0.				1・2 3・4	
12								0.				1・2 3・4	
13								0.				1・2 3・4	
14								0.				1・2 3・4	
15								0.				1・2 3・4	
16								0.				1・2 3・4	
17								0.				1・2 3・4	
18								0.				1・2 3・4	
19								0.				1・2 3・4	
20								0.				1・2 3・4	
小 計				5		1 260 000							

「1＝構築物」
「2＝機械及び装置」
「3＝船舶」
「4＝航空機」
「5＝車両及び運搬機」
「6＝工具、器具及び備品」
の資産の種類に対応する
数字を記載してください。

「償却資産申告書」に印字されてい
る所有者コードを記載してください。
今回、初めて申告される方は、記載
しないでください。

該当する方を○で
囲んでください。

当該資産の取得価額を記載してください。
なお、「取得価額」は、償却資産を取得するために通常支出すべき金額
(当該償却資産の引取運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、関税、
据付費その他当該償却資産を事業の用に供するために直接要した費
用を含む。)をいいます。
また、法人税法又は所得税法の規定による圧縮記帳については、償却
資産の評価上認められていませんので、当該圧縮額を含めた実際の
取得価額を記載してください。

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」により、原則として法人税
又は所得税の申告で用いたものと同じ年数を記載してください。
ただし、中古資産について見積耐用年数によっている場合等は、その
耐用年数を記載してください。

所有者名を記載してください。

3枚のうち、2枚目というようにページ数を記載
してください。

該当資産の増加事由を○で囲んでください。
「1＝新品取得」
「2＝中古品取得」
「3＝移動による受入れ」
(同一企業内において資産を移動させた場
合は、「摘要」欄に移動前の所在地等を記載し
てください。)
「4＝その他」
(摘要欄に理由を記載してください。)

取得年月が平成20年1月1日以前の資産を、
申告もれ・移動等により取得した場合に、その
資産の耐用年数が「減価償却資産の耐用年数
等に関する省令」の改正で変更となっていると
きは、「摘要」欄に増加事由と改正前の耐用年
数を記載してください。

網掛け部分は記載し
ないでください。
ただし、電算処理に
より全資産申告を行
う事業所は記載を必
要とします。

記
載
不
要

年号の欄は
令和が5、平成が
4、昭和が3で記
載してください。